Beautiful campaigns on the go
Create, edit and send in the Mailchimp mobile app
★★★★★ (7K)
GET

All campaigns

202505KeMCo

sent

View report

Campaign Preview HTML Source Plain-Text Email Details

View this email in your browser

Ke
M
Co

撮影：村松桂（株式会社カロワークス）

展覧会「センチュリー赤尾コレクション×斯道文庫　書物ハンターの冒険：小松茂美旧蔵資料探査録 Ⅰ」の会期は来週5月16日（金）までとなりました。「センチュリー赤尾コレクション」のうち初公開となる資料や、惜しまれつつも閉館した早稲田のセンチュリーミュージアムでかつて展示されていた仏像も見応えのある展覧会です。お見逃しなく。

KeMCoの近況

【5月16日（金）まで】センチュリー赤尾コレクション×斯道文庫 書物ハンターの冒険：小松茂美旧蔵資料探査録 Ⅰ

撮影：村松桂（株式会社カロワークス）

「書く」文化の探究に並ならぬ情熱を注いだ古筆学創始者の、ユニークすぎるコレクションに分け入る展覧会

2021年に慶應義塾に寄贈されたセンチュリー赤尾コレクションには、古筆学者 小松茂美（1925〜2010）の約15,000冊におよぶ旧蔵書が含まれています。この蔵書の最大の特色は「文字を書く」営みに関わる日本の古典籍を、他に類を見ない幅広さで蒐集していることです。
現在、慶應義塾大学附属研究所 斯道文庫では、この膨大な蔵書の再調査と目録化が進められています。本展では、驚きに満ちた古典籍調査の過程とともに、ユニークすぎる小松茂美の蔵書コレクションの一端をご紹介します。珍しいもの、ありふれたもの、著名人がかつて持っていたもの、どこにもタイトルのないもの、何だかよくわからない不思議なもの……バリエーション豊かな書物の森に分け入ってみましょう。

センチュリー赤尾コレクション×斯道文庫
『書物ハンターの冒険：小松茂美旧蔵資料探査録 Ⅰ』
会期｜2025年3月17日（月）〜 5月16日（金）［土日祝休館］11：00〜18：00
会場｜慶應義塾ミュージアム・コモンズ展示室（三田キャンパス東別館）
入場｜無料、予約不要
主催｜慶應義塾ミュージアム・コモンズ、慶應義塾大学附属研究所斯道文庫

ギャラリートーク（予約終了）
日時｜5月13日（火）14:00〜15:00
話者｜一戸 渉（斯道文庫 教授）
場所｜慶應義塾ミュージアム・コモンズ展示室
好評につき事前予約は終了いたしました。

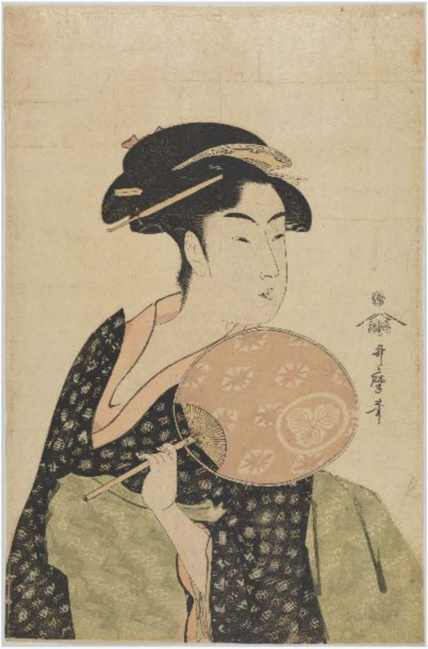
当日のご参加も可能ですが、ご予約をいただいた方が優先となりますので、ご了承ください。

関連企画
小展示「センチュリー赤尾コレクションの仏像」

同時開催
ふとした点景――岡崎和郎
2階　階段踊り場

書物ハンターの冒険：小松茂美旧蔵資料探査録 Ⅰ

【次回展】夢みる！歌麿、謎めく？写楽―江戸のセンセーション



喜多川歌麿画「高島おひさ」江戸時代後期、大判錦絵（前期展示）

蔦屋重三郎プロデュースの喜多川歌麿と東洲斎写楽を中心とした浮世絵作品約100点を一挙に出陳！

経済学者でかつて慶應義塾の塾長（代理）を務めた高橋誠一郎が収集した、「高橋誠一郎

浮世絵コレクション」を紹介する展覧会を開催いたします。
高橋コレクションの公開普及事業として2回目の開催となる本展覧会では、江戸時代後期を代表する浮世絵師、喜多川歌麿と東洲斎写楽の二人に着目しました。美人画の名手であった歌麿と、役者絵で名を馳せた写楽の浮世絵を主役に、二人の版元・蔦屋重三郎の関連資料や、同時代に活躍した他の絵師たちの作品も併せて紹介します。
また、今回は写楽の極めて貴重な浮世絵版画を借用し、高橋コレクションとともにじっくりと鑑賞いただけるような空間を創出しています。美人画と役者絵の競演をお楽しみください。

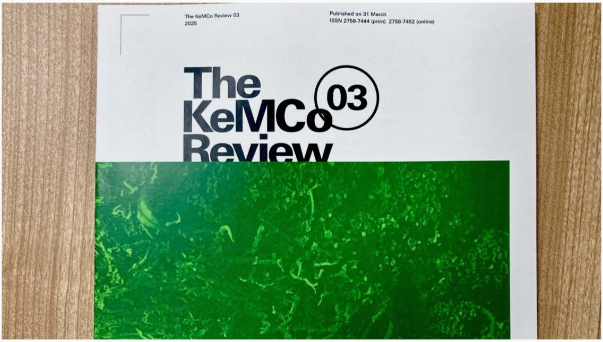
夢みる！歌麿、謎めく？写楽—江戸のセンセーション
会期｜2025年6月3日（火）～7月2日（水）［前期］、7月7日（月）～8月6日（水）［後期］［土日祝休館］11：00～18：00
特別開館｜ 6月21日（土）、7月12日（土）、8月2日（土）
臨時休館｜ 6月23日（月）、7月3日（木）、4日（金）
会場｜慶應義塾ミュージアム・コモンズ展示室（三田キャンパス東別館）
入場｜無料、予約不要
主催｜慶應義塾ミュージアム・コモンズ、慶應義塾大学三田メディアセンター
協力｜繭山龍泉堂

※会期中に、一部作品の展示替えを行います。

関連プログラム
展覧会に関連したプログラムを各種予定しています。
詳細はウェブサイト、SNSでお知らせします。

夢みる！歌麿、謎めく？写楽—江戸のセンセーション

The KeMCo Review 03（特集：コモニング—コモンズ的実践）を発刊しました



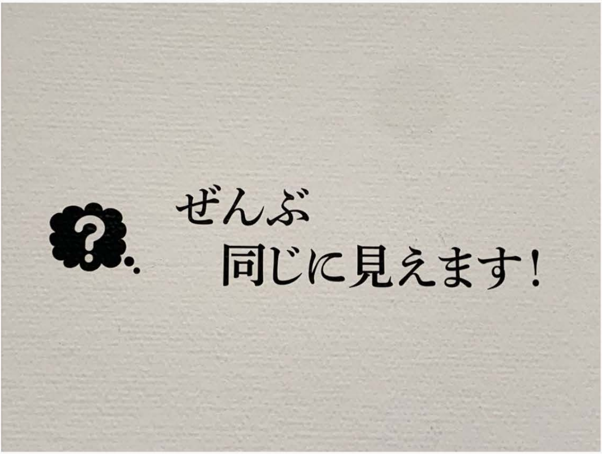
慶應義塾ミュージアム・コモンズ（KeMCo）では、KeMCoの活動に関連する諸領域における、学内外の研究や実践を共有化してゆくための学術誌、「The KeMCo Review 」（ケム

Feedback

コ レビュー）の第3号を、2025年3月に発刊しました。
PDF版をウェブサイトで公開しております。詳細はウェブページをご覧ください。

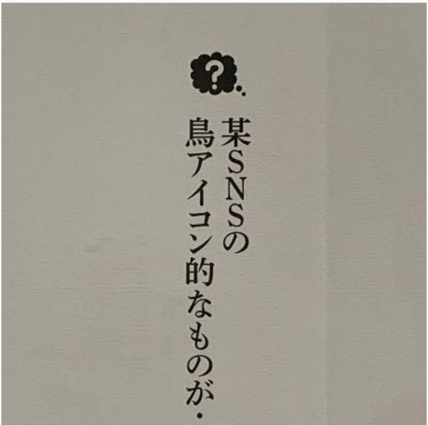
The KeMCo Review 03（特集：コモニング—コモンズ的実践）

展示室より、推しモノ #38

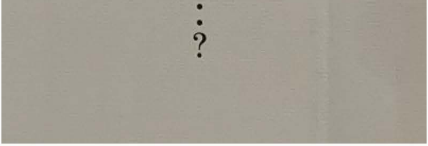


ぜんぶ
同じに見えます！

展示室内に時々現れる、ハンターみならいからの質問。



某SNSの
鳥アイコン的なものが・



時には脱力してしまうような内容も

3月17日（月）から始まった「斯道文庫×センチュリー赤尾コレクション 書物ハンターの冒険：小松茂美旧蔵資料探査録 I 」、おかげさまで多くのお客様に足をお運びいただいています。
本展覧会ではかなりマニアックな書物もたくさん展示されています。書にあまり馴染みがない方にも、書の森の探索に明け暮れる書物ハンター達の情熱をなんとかお伝えしたい・・・その手がかりとなるべく、本展覧会では、KeMCoスタッフが「ハンターみならい」となり、質問をハンターにぶつける「おしえて！ハンター」というコーナーを設けました。「どう珍しいのかわかりません・・・」「ぜんぶ同じに見えます！」など、今更聞けない素朴すぎる疑問に、ハンターはわかりやすく、かつ真摯に答えてくれています。書物をつぶさに観察し、一見小さな違いから、その書物の社会的背景にまで迫る書物研究の奥深さに思わず引き込まずにいられません。
このコーナー、実はウェブ版もあり、ご来場いただいたお客様はアンケートにて自由に書いていただけます。全てのご質問にお答えは難しいのですが・・・気長にお待ちいただくと、お寄せいただいたご質問に、ハンターからの返答があるかもしれません。
展覧会は5月16日まで！ぜひ足をお運びください。

大前美由希（KeMCo学芸員）

おしえて！ハンター（ウェブ版）

空き地

学生学芸スタッフ（KeMiCo）として今年4月から活動に参加しております大学院修士課程の居椿尚です。研究対象は、19世紀末フランスを代表するガラス工芸家エミール・ガレ(Emile Gallé, 1846-1904)のガラス作品です。３月には初めての海外調査でフランスに出向き、重要な作品出品の機会であった万博の開催地パリとガレの故郷ナンシーの美術館で充実した資料収集を行うことができました。写真はガレ研究の拠点のひとつであるナンシー派美術館で鑑賞したガレのガラス作品の一部です。
さて、KeMCoの活動を始めてまだ1カ月ほどですが、基本業務である閉館後の展示室チェックはもちろん、次回開催される浮世絵展に関する校正作業や現在開催中の「書物ハンターの冒険：小松茂美旧蔵資料探査録Ｉ」展のギャラリートークの動画編集、作品撮影の補助から、オフィスの大掃除、備品チェックに至るまでさっそく濃厚な体験をさせていただきました。特に動画編集は慣れないパソコンツールの使用で戸惑うことばかりでしたが、今後経験を積み重ねていく中で徐々にマスターしていきたい分野です。
最後に、大河ドラマ「べらぼう」に関連して浮世絵展が全国各地で開催されていますが、KeMCoでも6月3日（火）より「夢みる！歌麿、謎めく？写楽—江戸のセンセーション」が開幕します。校正作業にわずかですが携わった身として、ぜひご覧いただきたい展示です。

居椿尚（KeMiCo）

お知らせ

三田キャンパスでご覧いただける展示

アート・アーカイヴ資料展XXVII「交信詩あるいは書簡と触発：瀧口修造と荒川修作／マドリン・ギンズ」
3月17日（月）～ **5月30日（金）**
会場：慶應義塾大学アート・センター

第367回企画展示：Outlive Humanity 本の歴史
前期：4月21日（月）～　**5月20日（火）**
後期：5月26日（月）～　6月28日（土）
会場：図書館1階展示室

KeMCo Voiceでは皆様のご意見・ご感想を募集しております

KeMCo Voiceやミュージアム・コモンズへご意見・ご感想がございましたら、以下のアドレスまでお寄せいただければ幸いです。
いただきましたご意見は匿名でご紹介させていただく場合がございます。紹介をご希望で

ない場合はその旨をお書き添え下さい。

> ご意見・ご感想はこちら

次回のKeMCo Voiceは2025年6月に配信予定です。
過去のニュースメールはこちら

Copyright © 2019-2025 慶應義塾ミュージアム・コモンズ　Keio Museum Commons

〒108-8345　東京都港区三田2-15-45

Tel:　03-5427-2021　Fax:　03-5427-2022
お問い合わせ